中村 一博議員

光ファイバー通信網整備について

問 **和水町のブロードバンド通信可能地区は、現在、どの程度あるのか伺う。**

答 （町長）光ファイバー通信網整備については、公共投資臨時交付金の事業があったが、その事業には充てられないという連絡があり、断念した経緯がある。今後も有利な補助金があれば、又、今後、更に進んだ状況で整備していく。

答 （総務課長）本町においては、ＡＤＳＬ回線（光ファイバーではない）が挙げられる。ＡＤＳＬは一般的に、ＮＴＴの交換局から４㎞を超えると伝送速度に支障が生じる。和水町では、ＡＤＳＬに加入されているのは８７８世帯程度である。

問 **和水町ホームページの作成の目的を伺う。又、ホームページへのアクセス数は町内、町外どのような状況か伺う。**

答 （総務課長）対内的には、最新の行政情報を発信することで、住民の利便性の向上を図り、開かれた行政を実現できると考える。対外的には、観光ＰＲページを通じて、来町者の獲得と地域振興に資することを目的としている。和水町ホームページへのアクセス（接続）数は21年度月平均９、５００件に対して22年度は１万５、０００件であり、1.5倍と増えてきている。アクセス数からみても情報伝達の手段として大きな効果を発揮している。今後も内容充実を図っていく。

問 **教育現場において、パソコンを使った授業はどのように行われているのか伺う。**

答 （教育長）小・中学校各々パソコン教室があり、基本操作及び情報処理能力を養っている。調べ学習ではインターネットで資料を得て、社会・理科の授業に非常に役立っている。又、発表原稿作成や、学校新聞など資料収集に活用している。

問 **町長は定住促進推進において、一人でも多く町民を増やしたいと都度都度聞くが、企業誘致の観点からも、早急な光ファイバー通信網の必要性があると思うが、町長の考えを伺う。**

答 （町長）光通信網整備は、今後更に必要性が深くなっていく。企業誘致に欠かせない受皿整備だと思っている。何らかの支援策の中で取り組んでいく。

問 **先程の答弁で、アクセスが1.5倍になっているということだが、今後益々増えると予想される中で、ホームページの内容を進化、充実させ、農産物等の宣伝を行えば観光客の増加が見込める。又、パソコン画面をタッチパネル式にすれば、高齢者等福祉の充実に繋がるし、早急な整備が必要と思うが、執行部の考えを伺う。**

答 （総務課長）総務省の、光の道構想「アクションプラン２０１１」のことで、２０１１年度からの事業で、超高速ブロードバンドの利用可能率を１００％にすることであり、進んでいない部分も、この事業で幾らかの補助があれば、過疎計画等にも載せているように、過疎債等も利用し、早い時期に出来るように努力する。

問 **光ファイバー通信網を町内全世帯に張り巡らせるには、どの程度事業費が必要であり、国からの交付金が見込めるか伺う。**

答 （総務課長）正式に書面で調査依頼はしていないが、近隣の自治体からの聞き取り約７億円程度必要ではないかと思っている。又、現段階では交付対象となる国庫補助事業はないが、仮に事業を実施する場合は、起債、過疎債が充てられる。今後、光の道推進に向けた整備事業、補助事業が示されると考えており、国のこの政策の動向見ながら、有利な補助金があれば考えていく。

パソコン授業風景［菊水西小学校］